



川俣南小学校

学校だより

令和2年
3月11日
臨時2号

未だ油断の出来ない状況が続いています

徐々に毎朝の気温が上がってきて、少しずつ春の訪れを感じられるようになりました。

お子さんの様子は如何でしょうか。外に出られず、友だちと会うこともできず、悶々とした日々を送っているのではないのでしょうか。

世の中では、明るいニュースもなく、新型コロナウイルス感染症の新たな感染者のニュースが連日流れてきます。皆様のご理解とご協力のお陰で、爆発的な流行が何とか抑えられている状況とのことです。福島県でも1名の感染者が出ましたが、市中にいての感染ではなく、クルーズ船を降りて、県の担当部署のコントロール下にいた方が新たに発症したとのことでした。

また、増加している感染者はクラスター（集団感染）が殆どだと思われます。どこで感染したのか分からない状況ではないことが、せめてもの救いだと感じています。感染された方々の早期の回復を祈念しております。

しかしながら、現在の状況からは、いつまで不要不急の外出を控えればいいのか、いつ休校を止めればいいのか根拠をもって判断することは、誰もできない状況だと考えられます。ご家庭では、様々な課題が出てきて、お困りのこともあるかとは思いますが、お子さんの預かりでご不明な点がございましたら、町役場の子育て支援課が預かりの担当となっておりますので、相談されてみてください。また、学習についてお困りのことがありましたら、学校に連絡されてご相談ください。

今後の学校の行事等について、方向性が定まらず保護者の皆様にはご迷惑をおかけしております。本日、町教育委員会事務局と町内園・小・中学校長との臨時校長会が午後から予定されています。どのような話し合いになるかは、現時点では分かりませんが、遅くとも3月16日（月）には何らかの形で、修了式と卒業式等の今後の学校の行事について保護者の皆様へご連絡したいと考えております。明日から、大きく好転するとは思われない現状です。どうぞ、ご理解とご協力を引き続きお願い致します。

東日本大震災と原子力災害から9年が経ちました

9年前の今日。3月11日午後2時46分。東日本大震災が起きました。その後の原子力災害で、川俣町は浜通り等の方々が避難されてきて、自分たちも被災状況の中、多くの方々を受け入れるなどして大混乱であったと聞いております。本校の2・3年生が生まれた年です。

本来ならば、学校では子ども達にその時のことについて、校長が全校生に向けて当時の話をし、命の大切さやこれからの生き方について考えてもらいたいと思っておりました。

本日、学校では弔旗を掲げ、教職員が黙祷を行い、哀悼の意を表します。



本校国旗掲揚塔の弔旗